

## 住まいるアップ・ニュース

## 第9号

2011年9月15日発行

## 住まい再考

NPO法人さっぽろ住まいのプラットホーム理事長 (住まいるアップ委員)

山本 明恵

子供の頃に育った家を憶えているでしょうか。

8年程前、私の所属する建築士会女性委員会で、冊子「子どもをはぐくむ住まいづくり」の発行を機に、編集委員がそれぞれ自分の子供（小学生の頃）時代をすごした家を思い出し、手画きの図を画くことにしました。

図面は建築士なのでお手のもの、どこで、だれと、どんな風に暮らしていたか、記憶をたどり画き上がったものはどれも想像以上に詳細なものでした。

周辺の家並みや遊び場、家の間取はもちろん、家具の配置から、そこで営まれた年中行事のことなど、家族とのさまざまな思い出がびっしりと画き込まれていたことに、まるでタイムスリップしたかのように鮮明に憶えていることに気づきました。

物質的には決して豊ではなかった昭和30年代ですが、何ともいえない幸福感があったように思います。



それから50年、環境、少子、超高齢化への変化で家族の住まいから、自分の住まいとして、もう一度、どこで、だれと、暮らすのかという新たな選択をしなければなりません。

できれば思い出の詰まった家に住み続けたいと思うでしょう。不可能ならせめて自分らしい幸福感を持てる住まいを選べるよう、地域性にあった多様な「集まって住む」形態があることが望ましいと思います。

こんな時代だからこそ、あえて自分が自然体で暮らせる住まいを、考え続けていきたいと思っています。

## — 目次 —

- 住まい再考 ……1
- 情報誌「シニア住まい情報  
さっぽろ 2011年度版」  
発刊のお知らせ ……2
- 第3回事業者勉強会を  
開催しました ……3
- 第4回事業者勉強会  
のご案内 ……4
- スタッフ紹介 ……4
- 編集後記 ……4

## 情報誌『シニア住まい情報さっぽろ 2011年度版』発刊

シーズネットでは、札幌市内と近郊の274の高齢者共同住宅および有料老人ホームの情報を掲載した情報誌『シニア住まい情報さっぽろ(2011年度版)』(A4サイズ・318頁)を発刊しました。シーズネット、あんしん住まいサッポロにて、1冊1,000円で販売していますので、お気軽にお問い合わせください。別途ちらしを同封しましたので、ご覧ください。また、情報誌の発刊を記念して、8月23日、札幌エルプラザ大ホールで開催した「講演会とシンポジウム」には、多くの方にご参加いただき、高齢者住宅への関心の高さが伺えました。



## 市民向け啓発パンフレット

啓発パンフレット「元気なうちに考えておこう あなたはこれからどこで暮らしますか? -札幌市の高齢者住宅編-」が完成しました。関係各所および、住まいるアップセンターに設置しています。



## 高齢者住宅セミナー

「高齢者住宅セミナー 2011 in 大阪」のお知らせ ([http://www.koureisha-jutaku.com/koureisha\\_seminar110saka/index.html](http://www.koureisha-jutaku.com/koureisha_seminar110saka/index.html))

高齢者住宅新聞社主催による、高齢者住宅セミナーが10月12日(水)、13日(木)10時30分~16時、大阪マーチャンダイズ・マート会議室で開催されます。内容等、詳しくは、ホームページをご覧ください。

## 福祉関係者向けセミナー

高齢者共同住宅のタイプや現状、制度を知り、相談援助者として適切な援助方法について学んでいただくことを目的にした、高齢者住宅セミナー・第1回「高齢者の住み替え援助をするために」を、10月に開催します。対象は、病院や介護事業所などに勤務されている相談担当者、MSW、ケアマネージャーなど。

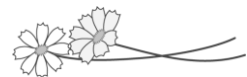
「住まいるアップセンター・立花和浩」と、「医療法人社団恵和会宮の森病院・福祉支援サービスえん課長・竹見淳子氏」による講演の2部構成です。開催要項、申込み方法など、詳しくはホームページをご覧ください。

## 【見学会協力住宅事業所】募集

「福祉関係者向け高齢者共同住宅セミナー」の見学会開催にあたり、見学者受け入れにご協力いただける、住宅事業者を募集しています。

この見学会は、高齢者が適切な住宅選びができるよう身近な相談者となる病院や介護事業所の相談担当者の方々に、高齢者共同住宅をよりご理解いただける機会を設け、相談援助に活用していただくことを目的に実施します。

別途、実施要項を同封しましたので、ご覧ください。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



## 第3回事業者勉強会を開催しました

第3回「安心・快適住まいるアップ事業者勉強会」を、8月22日午後、札幌エルプラザ大研修室にて開催しました。今回は、事業者や関係者を含めて27名の参加となりました。以下、当日の様子についてご報告します。

### 【入居者の生きがいのある生活のために】

～入居者、職員、地域それぞれとの良い関係づくり～

菊地 英夫 氏

(株芸術の森シルトピア 代表取締役)

菊地氏の自己紹介と「芸術の森シルトピア」の事業企画段階のお話から講演が始まりました。

もともと有料老人ホームからスタートしようとしていた当時、福岡と滋賀県にあった比較的大手の有料老人ホームの倒産がテレビで取り上げられたことが、危機管理について考えさせられるきっかけとなり、検討の結果、急きょ「分譲型高齢者専用マンション」としてオープンし、その後、一部は賃貸として運営されていることも説明されました。

また、毎月定例開催されている「懇親会」、各種サークルや同好会についての説明、20年余りの運営の中で起きた、さまざまなトラブルの事例説明がなされ、対応について具体的にお話いただきました。さらには、管理組合と会社との関係や、近隣の小中学校との交流や町内会の年間行事への関わり、「花を咲かせる会」などへの参加についてお話しいただきました。

職員と入居者、入居者同士の良い関係の構築が、安定した運営、地域との良い関係が広く「芸術の森シルトピア」の宣伝につながる結果となっていることが伝わりました。

### 【質疑応答】

#### 【参加事業者の意見交換会】

司会 立花和浩(札幌・住まいるアップセンター)  
主な質問や意見交換は以下のとおりです。



会場の様子

#### ・男性女性の比率、それと要介護の方がどれくらいかを教えてください

→男性35%、女性65%です。一番重い要介護5が9名、要介護4が4名、要介護3が2名、要介護1が20数名います。

#### ・夜間の対応についてどのようにお支えしているのですか

→夜の8時半から9時までの間に就寝介助に入っています。その間になんらかの異常があれば報告の元、電話などで主治医の指示を仰いでいます。異常があれば職員が付き添って、救急車などで病院に搬送しています。

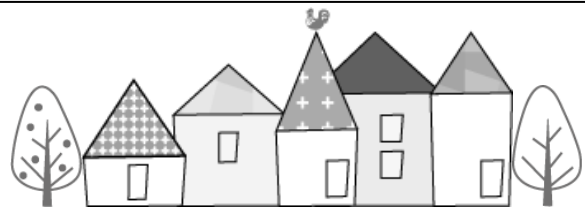
質疑応答では、テーマである「入居者の生きがい」とは何かという質問の他、運営委員会を前向きにかつ長続きさせる秘訣や入居者同士のトラブルで、一方が認知のある方の場合の対処法についての質問などが出され、事例やアドバイスなどの発言があり、活発なやりとりがなされ、運営に関する対応の具体例について、関心の高さが伺えました。

## 第4回事業者勉強会のご案内

第4回の勉強会では、「うまくいった事例」、  
「うまくいかなかった事例」、さらには「事業  
再生の事例」を通し、生き残れる高齢者住宅経  
営について考えます。(参加無料)

- ◆日時:2011年 10月19日(水)  
13:15開場 13:30開演 15:45終演予定
- ◆場所:かでの2・7 710会議室(7階)  
(中央区北2条西7丁目)
- ◆講師:狩野 美香子氏 (有) 介護サービス 輝  
代表取締役)
- ◆テーマ:生き残れる高齢者住宅経営

※別途ご案内と参加申込書を同封いたしました。  
みなさまのご参加をお待ち申し上げます。



### 【新スタッフ紹介】



野崎 佐知子  
(企画担当)

皆様はじめまして。8月より事  
務局の一員として勤務しており  
ます、野崎と申します。

これまで石澤が担当しており  
ました勉強会やセミナー開催前  
の準備、HP更新、資料発送等の  
総合的な業務を引き継ぎ担当し  
ております。今まで、編集や各種  
イベントの企画運営等に携わっ  
てまいりました。

少しでもお役に立てるような情報を発信できる  
よう、頑張っていく所存ですので、どうぞよろし  
くお願いいたします。

### — 編集後記 —

9月に入り、札幌にもさわやかな秋風が吹き、空が高く感じられる季節となりました。

日頃より、高齢者対応共同住宅の事業所の皆様には、多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。「安心・快適住まいるアップ事業」も、残すところ半年となりますが、引き続き、よろしく願い申し上げます。

さて、次号のニュースレターは、11月15日発行予定です。今後も、情報提供を継続して参りますので、ぜひご一読いただけると幸いです。またホームページ <http://smile.seedsnet.gr.jp/>でも最新の情報を紹介しておりますので、こちらものぞいてみてください。

安心・快適住まいるアップ事業

**札幌・住まいるアップセンター**(シーズネット内)

TEL 011-708-8567 FAX 011-717-6002

※本ニュースレターのメール配信ご希望の方は、下記アドレスまでご一報ください。

[info-suc@seedsnet.gr.jp](mailto:info-suc@seedsnet.gr.jp)

～新時代を創る高齢者の経験と活力ネットワーク～  
SEEDS NETWORK

Seniors' Experiences and Energies for Developing New Systems  
高齢者による新しい仕組みづくりの種になりたい、そんな気持ちを込めました。



**NPO法人シーズネット**

〒001-0010

札幌市北区北10条西4丁目1番地 SCビル2F

代表 TEL 011-717-6001 FAX 011-717-6002

<http://www.seedsnet.gr.jp/>

—その他の事業—

さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業

**さっぽろ孤立死ゼロ推進センター**(シーズネット内)

TEL 011-708-8686

ひとり暮らしのあなたに、安心をお届けします

**おひとりさまあんしんねっと事業**(シーズネット内)

TEL 011-717-7007

高齢者住宅相談情報センター

**あんしん住まいサポート**

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 オーク札幌ビル1F

TEL 011-210-6224